



発行日 2021. 6. 1  
発行者 山路 雄彦  
発行所 一般社団法人  
群馬県理学療法士協会事務局  
群馬県前橋市大渡町 1-10-7  
群馬県公社総合ビル 6F  
源流題字 浅香 満  
編集責任者 榊原 清

# 源流

No. 146

## Contents

■理学療法アラカルト「組織運営で悩んでいる若いPTへ」 志摩耕平	・・・	02-03
■理学療法士が知っておきたい社会保障制度 ワークライフバランス委員会	・・・	03
■地域包括ケアシステムって何ですか？ 加藤啓祐	・・・	04
<b>NEWコンテンツ!!</b> ■新生涯学習制度について 生涯学習部	・・・	05-06
■書籍紹介「予防理学療法学要論」 宮田恵章	・・・	07
■職場紹介「家具のホンダ リハ・アシストホンダ」 小林勝	・・・	08-09
■後輩理学療法士へ 古川靖晃	・・・	10
■令和2年度中毛ブロックオンライン交流会 ■第45回基礎講座・症例検討会	・・・	11
■第6回介護予防推進に資する指導者養成研修会 ■地域リハビリ推進部研修会	・・・	12
■令和2年度介護保険部主催研修会	・・・	12
■災害支援とリハビリテーションに関する研修会 ■令和2年度小児リハ部研修会	・・・	13
■第32回臨床講習会	・・・	13
■スポーツ推進部研修会 ■第6回介護予防に資する地域ケア会議研修会	・・・	14
■会員動向	・・・	14
■ニュース收受	・・・	15
■編集後記 ■源流こらむ	・・・	16



## 職場紹介

# 家具のホンダ リハ・アシストホンダ

小林 勝



### 1. リハ・アシストホンダとは

家具のホンダ リハ・アシストホンダは、群馬県桐生市にて創業 100 年を迎えた老舗家具店『家具のホンダ』が運営する「リハビリ特化型デイサービス」です。平成 27 年 10 月に末広店、平成 31 年 3 月に東店、令和 2 年 4 月に相生店がオープンし、現在 3 店舗を運営しております。

当施設は、地域密着型通所介護と第一号通所事業として、午前午後の 2 部、各 3 時間の中で、桐生市の方が住み慣れた町や環境で元気な生活が送れるよう利用者一人一人の状態や生活に合わせたリハビリテーションと運動プログラムを提供しております。

### 2. リハ・アシストホンダの特徴

利用者は、病院退院後のリハビリテーション継続目的から身体機能の維持目的、疾患では慢性疼痛、運動器疾患、脳血管障害、神経・筋疾患、認知症など多岐に亘っております。

各店舗には、理学療法士が 2 名以上在籍しており、利用者の状態に合わせた個別リハビリテーションを行うとともに、運動器具やリラクゼーション機器の選定、ご自宅の環境に合わせた自主トレーニングプランをオーダーメイドで提供しています。また、プラン策定に当たっては、ご自宅を訪問して生活状況のチェックや、体成分分析装置 InBody 測定を利用した身体状況分析も実施しております。



私の勤務する末広店は、リラクゼーション機器や運動器具を使用し、疼痛や筋緊張の調整を行いながら身体機能の向上を図り、個別リハビリテーションでは商店街に在ることを利用し、街並みを利用した屋外歩行や近くのお店へ買い物に行くなど、社会参加や QOL の向上を目的とした取り組みを行っております。また、季節のイベントとしてリハビリテーションを目的とした集団レクリエーションや、作業療法として、施設の飾りつけもご利用様と一緒にっており、アットホームな雰囲気だけでなく、精神面からも健康になるよう取り組んでおります。

次に東店は、最新の運動器具を19種類揃えており、タイムスケジュールやマシンの設定などなるべくご自身で行って頂き、自主性を高め運動への意欲を高めるような取り組みを行っております。個別リハビリテーションでは、iPadを利用してご利用様と歩行や動作の共有を図り、TRXやパワープレートを使用した多彩な機能改善プログラムも提供しております。

最後に相生店は、30台の運動器具を揃えており、3店舗で一番広い施設となっております。市



内で唯一屋内50mの歩行スペースを確保し、坂道や階段、不整地などの歩行訓練が安全に行える施設となっております。

リハ・アシストホンダでは、店舗毎に特色を出しながらも統一意識のもとで、看護師・介護職員とも連携しながら、多角的に利用者其々にふさわしいリハビリテーションの提供を心掛けております。

### 3. 最後に

リハビリ特化型デイサービスは、まだまだ全国的にも知名度の低い分野となっております。また、デイサービスに理学療法士が在籍し、専門知識に基づいたリハビリテーションを提供していることも強くアピールしていく必要があると考えております。

一方、桐生市では人口の減少とともに高齢化率も上昇し、令和2年度は高齢化率が35.67%と、3人に1人が高齢者となっております。また、世帯あたり人員も年々減少し2.28人となっております。利用者の方々も一人暮らしの方が増加している傾向にあります。

桐生市の状況を踏まえた地域に根ざした活動として、地域の活性化や一人暮らしで閉じこもりがちな方への取り組みが必要と考え、地域と共に住み慣れた町や環境で元気に暮らしていけるような活動にも取り組んでおります。

その一つとして、本来の目的である介護予防と健康寿命の延伸を図るため、免疫力の向上についても着目し、利用者向けに作成した資料を、近隣の方々へも配布しております。今後は、体操教室や運動の提供を介護保険外の地域の方々にも提供していくなど、地域の活性化に貢献できるよう多様な取り組みを展開していきたいと考えております。

